

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間スケジュール(案)												【参考】令和4年度の実績等
(1) New草津型アクティブ・ラーニングの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
周知・啓発、実践事例の収集、授業実践事例集および実践動画集の作成、全校への共有	「小学校・中学校において身に付けさせたい情報活用能力系統表」について新学習指導要領に合わせた見直しを行います。	市教委主催の研修会での周知・啓発①	市教委主催の研修会での周知・啓発②		市教委主催の研修会での周知・啓発③				市教委主催の研修会での周知・啓発④			市教委主催の研修会での周知・啓発⑤	実践事例集・動画集の作成	New草津型アクティブ・ラーニングについて、教育委員会主催の研修会や学校訪問や校長会等で周知・啓発を行い、その趣旨の理解に努め、1人1台端末を効果的に活用する授業実践が多くなりました。
校内研究授業や教科等部会別研究会での研究授業でのICT活用の促進	校内研究授業や教科等部会別研究会の研究授業でのICT活用を促し、各教科等の特性を生かしたICTの効果的な活用方法を研究します。	研究授業でのICT活用の促進呼びかけ①			研究授業でのICT活用の促進呼びかけ②									校内研究会や教科等部会別研究会に参加し、ICT活用の効果的な活用方法を説明したり、支援を行ったりすることで、ICTの効果的な活用方法の研究が進みました。
第1期研究指定(小学校1、中学校1)研究結果の公表と普及	研究校を指定し(小学校1校、中学校1校)、New草津型アクティブ・ラーニングの推進について研究を行い、研究結果の公表を行って効果を市内全校へ普及させます。		(随時) 研究校への支援、指導・助言						研究結果の公表			第2期研究指定校募集・決定		小学校、中学校のそれぞれの研究指定校において、New草津型アクティブ・ラーニングの研究を推進し、1月25日、31日にそれぞれ中間発表会を実施しました。※1月25日は降雪のため、発表会内容を一部、2月28日に延期します。
学習者用デジタル教科書の調査・研究	文部科学省の事業で整備される英語等の学習者用デジタル教科書について、効果的な活用方法を調査・研究し、国の動向を注視しながら導入について検討を進めます。	年度初研修会の実施			(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集							年度末研修会の実施	事業成果の周知	全小中学校に英語科(外国語科)を導入。また、実証事業として10小学校及び全6中学校で算数・数学科、理科、生活科を導入しました。
(2) 計画的なICT環境整備とICTを活用した学びの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ソフトウェアの検討・整備	プロポーザルにより選定した協働学習ソフト・デジタルドリルソフトの運用を開始するとともに、学習eポータルソフトの運用開始および利活用に係る調査・研究を行います。	運用開始												協働学習ソフトおよびデジタルドリルについて、選定のためのプロポーザルを行い、選定を終えました。現在、令和5年度からの活用のための準備をしております。
電子黒板の更新整備の検討	電子黒板については、整備から5年以上が経過し老朽化が見込まれることから、計画的な更新整備を検討します。その際、特別教室への配備も含めて検討を進めます。	学校間移動(必要な場合)	整備計画の検討	重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)					予算要求(必要な場合)					令和3年度に新型コロナウイルス感染症対策に係る分散授業のために購入した電子黒板を、平常時にも特別教室にて活用しています。
1人1台端末の更新にかかる国の動向等の情報収集	令和7年度に一般的な耐用年数である5年目を迎えるため、国の動向等を注視しつつ、令和7年度での機器更新について検討し、必要に応じて予算要求や関係部局との協議を行います。		機器更新についての検討	重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)										令和7年度の機器更新を見据え、国の動向を確認しながら、調達方法等について情報収集を行いました。
市教委主催の研修会の実施、学校訪問および各校研修会での周知	学習者用ツールやICTの有効活用方法について、市教委主催で毎年1回以上研修会を実施します。また、学校訪問や各校で実施される研修会でも情報を周知します。				市教委主催の研修会での周知①				市教委主催の研修会での周知・啓発②					ステージ別研修会や各校で行われた研修会等において、学習者用ツールやICTの有効な活用方法についての研修を行いました。また、研修内容の資料や動画を教材共有ポータルサイトに掲載しました。
(3) 特別な支援や配慮を要する児童生徒に対するICTを活用した学びの保障		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
アプリ活用促進のための体制確立	個々の児童生徒の習熟度・理解度に合わせて活用することができるアプリや教材について、1人1台端末にインストールできる体制を確立し、年間を通じて活用促進できるように体制を継続します。	体制確認			(随時) インストール可能なアプリの登録									学校の要望に基づき、翻訳機能や読み仮名機能など個々の支援に応じたアプリや教材の導入を行いました。
特別支援学級への学習者用デジタル教科書の導入に向けた検討	習熟度・理解度に合わせて活用することができる教材として、特別支援学級全児童生徒に学習者用デジタル教科書の導入検討を進めます。	導入検討		重点施策マネジメントでの協議(要求する場合)					予算要求(必要な場合)					特別支援学級全児童生徒に学習者用デジタル教科書の導入検討を行いました。
オフライン・アプリおよびオンライン教材についての研究	多様な学習機会を確保するために、オフライン状態で活用できるアプリや、自宅の端末からでもアクセスできるオンライン教材について研究します。また、アプリおよび教材の一覧を作成し、各校へ共有するとともに、市教委主催の研修会や学校訪問で各校に周知します。	市教委主催の研修会での周知	アプリおよび一覧の作成	(随時) オフライン教材についての研究、一覧への追加、一覧の周知(必要に応じて)										家庭に持ち帰った時に活用できるオフラインあるいはオンラインのアプリや教材について、各学校に調査し、まとめた資料を各学校で活用できるように伝達しました。
学校へ登校しづらい児童生徒への「学びの保障」	学校へ登校しづらい児童生徒への、アプリや教材の活用、テレビ会議システムを活用した授業の配信や学習支援等を進め、学びを保障します。		(随時) アプリや教材、テレビ会議システムを活用した授業の配信や学習支援の実施											学校へ登校しづらい児童生徒に対して、家庭からでもテレビ会議システムを活用した授業が受けられるように対応しました。
(4) ICTを活用した家庭学習の充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
毎月1回以上の端末持ち帰りによるICTを活用した家庭学習の実施	週1回以上および長期休業中に端末を自宅へ持ち帰る機会を設け、ICTを活用した家庭学習を実施します。	端末持ち帰りに係る保護者文書の作成・配布		(随時) 端末持ち帰りに係る支援、端末設定や環境の改善										ICTを活用した家庭学習に取り組めるよう、年間を通して月1回以上の端末持ち帰りの実施を奨励しました。また、夏季休業中は、全小中学校20校中8校、冬季休業中は6校で端末を持ち帰り、家庭学習に活用しました。
オフラインで使用できるツールの研究および家庭での学習モデルの作成および更新、教職員や家庭への周知	自宅のインターネット環境によらず、ICTを活用した家庭学習を行えるように、オフラインで使用できるツールの効果的な活用方法を研究し、家庭での学習モデルを作成して教職員や家庭へ周知します。	オフライン・ツールを活用した家庭での学習モデルの作成		学習モデルの家庭への周知		(随時) オフライン教材についての研究、家庭での学習モデルの改訂・周知(必要に応じて)								家庭に持ち帰った時に活用できるオフラインあるいはオンラインのアプリや教材について、各学校に調査し、まとめた資料を各学校で活用できるように伝達しました。

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間スケジュール(案)												【参考】令和4年度の実績等
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(5) 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進														
より効果的なプログラミング学習の研究と実践	「草津モデル」をもとに小学校1年生から中学校3年生まで、発達段階に応じたプログラミング学習を実施します。 「草津モデル」を基により効果的なプログラミング学習について研究し、プログラミング学習を効果的に実践できるようにします。	(随時) 「草津モデル」によるプログラミング教育の実施、より効果的なプログラミング学習についての研究							草津市プログラミングコンテストの実施	草津市プログラミングコンテスト表彰式及び発表会の実施	「草津モデル」の改訂		「草津モデル」(改訂版)の周知	「草津モデル」をもとに各校、実践授業を1事例実施しました。また、発達段階の応じたプログラムになっているか検討し、プログラムの見直しを行っています。現在、13校/20校が実施済みです。 【草津市プログラミングコンテスト】 12月23日に草津市プログラミングコンテストを実施しました。全小中学校から1チーム、合計20チームがエントリーし、優秀賞5チームが表彰式後、発表を行いました。
(6) 遠隔授業による学びの充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
草津市の実践、国や先進自治体の事例の整理・収集と各校への周知	「英語教育オンライン授業」を継続するとともに、これまでの草津市の実践、国や先進自治体の事例を整理・収集して各校へ周知し、学びの充実を図ります。	(随時) 国や先進自治体の事例の整理・収集、各校への周知								英語教育オンライン授業の実施				11月から12月にかけて、生徒3名対外国人講師1名による中学3年生による英語オンライン授業を実施しました。また、1月から2月にかけて、小学4年生および小学6年生によるオンライン授業を実施しています。小学4年生は1学級2回線、小学6年生は児童3名対外国人講師1名で行っています。
遠隔授業が可能な施設や団体についての情報収集とリスト化	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集を行い、学校のニーズに応えられるようにリストを作成します。	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集、学校のニーズの把握									リストの各校への周知			英語授業の一環として、他市町と交流する事業等、授業として効果的な遠隔授業について情報収集をしました。
(7) 非常時における学びの保障		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
モバイルルータを貸与する事業の実施	インターネットを活用した家庭学習ができるよう、必要に応じてインターネット環境がない家庭等にモバイルルーターを貸与します。	利用登録者の更新 (随時) 貸出し、通信費の請求												新型コロナウイルス感染症対策に係る学級閉鎖等によるオンライン授業実施時や、家庭学習のためにモバイルルーターを貸与し、学習の機会の確保を図りました。
優良事例の収集及び研修会の実施	非常時のオンライン授業の質的向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や実践事例にまとめ、全校へ共有します。また、市教委主催の研修会で、年1回以上オンライン授業についての研修を行います。	市教委主催の研修会での研修の実施 (随時) 優良事例の収集、実践動画の作成											実践事例集・動画集の作成、周知	学級閉鎖等によるオンライン授業の研修については、各校の教育情報化リーダーを通して研修プログラムを組み、学校の実態に応じた内容で実施しました。
業者との連携、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化	保守業者やネットワーク整備業者と連携し、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化を図ります。	(随時) 業者との連携、定例会(月1回)の実施、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化												全小中学校の通信状況の調査および工事を依頼し、どの学校も均一にICTを活用した授業が行えるよう、安定化を図りました。

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値			95%	95%		95%以上
	実績値		小95.0% 中94.0%	小95.9% 中91.4%			
電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいと思う児童生徒 (児童生徒アンケートより)	目標値			93%	94%		95%以上
	実績値	92.3%	91.5%	R4.3測定予定			

基本目標2. 多様で変化の激しい社会を生き抜くための情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進		年間スケジュール(案)											【参考】令和4年度の実績等	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 情報活用能力の育成														
・ 情報活用能力系統表の見直し	「小学校・中学校において身に付けさせたい情報活用能力系統表」について新学習指導要領に合わせた見直しを行います。	●	(随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理											情報活用能力系統表の見直しを行い、それを基に、情報活用能力育成を目指した授業実践を行いました。
・ 好事例の収集・共有	教科ごとの特質に応じた指導内容の事例等を収集します。		市教委主催の研修会での周知	(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集、整理									実践事例の周知	教育情報化リーダー研修会において情報活用能力育成を目指した生活科、国語科の実践報告を行い、各リーダーに伝達しました。
(2) 情報モラルに関する指導の充実														
・ 実施計画の集約、優良事例の収集・周知	各校から情報モラルに関する学習活動の実施計画を集約します。	年度初研修会の実施		(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集、整理									実践事例の周知	各校からの情報モラルに関する学習活動の実施計画を集約し、教育情報化リーダー研修会で報告しました。
・ 保護者向け啓発の実施	情報モラルや機器の使用にかかるルール等の啓発動画を作成し配信することで、ルールを家庭とも共有します。	●	啓発動画の作成			活用について学校への周知				啓発動画の家庭への周知				滋賀県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策室と意見交流を行うとともに、ソフトバンク株式会社CSR本部 東海・関西 地域CSR部と協議を行い、保護者向けの啓発動画案の活用を図りました。

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
様々なメディアから必要な情報を選び出し自分の考えを効果的にまとめることができる児童 (小学6年生) (児童生徒アンケートより)	目標値			80%以上	80%以上		80%以上
	実績値		未測定	R4.3測定予定			
TPOに合わせ、メディアを効果的に活用、表現することができる生徒(中学3年生) (児童生徒アンケートより)	目標値			80%以上	80%以上		80%以上
	実績値		未測定	R4.3測定予定			
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値			71%以上	72%以上		75%以上
	実績値		小70.2% 中66.3%	小73.7% 中67.5%			

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール(案)												【参考】令和4年度の実績等
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 教育情報化リーダーの育成														
・ 研修の実施(年6回程度)	ICT活用、情報活用能力の育成、プログラミング的思考の育成等に関する校内研究をマネジメントするリーダーを育成するための研修会を年6回程度、実施します。	第1回研修会の実施	第2回研修会の実施			第3回研修会の実施			第4回研修会の実施		第5回研修会の実施	第6回研修会の実施		教育情報化リーダーが学校及び草津市のICT活用を積極的に推進していくための研修を全5回実施しました。(第5回は2月14日実施予定) 主な研修内容 第1回…年間の見通し ※各チーム(NewKAL,情報モラル、プログラミング、情報活用能力)ごとに分かれ、何を研究し、市内にどのように伝達していくか企画しました。 第2回…年間計画の作成 ※自校の強み、弱みから自校での研修内容を考えました。 第3回…情報モラルの研修 ※講師を招き、研修会を開きました。(ICT部会と共催) 第4回…プログラミング学習の研修 ※講師を招き、研修会を開きました。 第5回…実践のまとめ ※自校での取り組み及び各チームごとの実践報告をする予定です。
・ リーダーによる校内研修会の実施(年3回程度)	教員一人一人のICT活用能力向上のために、自校の強みを伸ばし課題を克服する研修を年3回程度、実施します。	●	→		●	→		●	→					教育情報化リーダーが各校のICT活用における実態をもとに、それぞれの学校に応じた研修を自分たちで考え、ICT支援員や課員の支援を受けながら学期に1回校内での研修会を実施しました。
(2) 教員間におけるICT活用格差の解消														
・ ステージ別ICT実技研修の実施(年3回程度)	希望する教員を対象に、一人一人の更なるICT活用指導力向上を図るため、それぞれのステージに応じたICT実技研修を年3回程度、実施します。		第1回初任者向け研修会 第2回中級者向け研修会			第2回初任者向け研修会 第2回中級者向け研修会			第3回初任者向け研修会 第3回中級者向け研修会					それぞれのICT活用指導力に応じた研修会を2回開催し、受講生のICT活用指導力の向上に努めました。また、受講生が所属校で研修内容に係るOJTを実施することで、各校のICT活用指導力のボトムアップにつなげることができました。
・ 市外からの転任者向け研修会の実施(年2回程度)	市外からの転任者を対象に、草津市のICT教育(ハード、ソフト)の理解を深めるための概要説明と、1人1台端末を効果的に活用した授業を展開するための実技研修を実施します。	研修会の実施												4月に市外からの転任者を対象とした研修会を2回実施することで、草津市のICT教育への理解を深め、1人1台端末の効果的な活用へつなげることができました。その後もフォローアップのために、オンライン相談会を紹介し利用してもらうことにより、ICT活用指導力向上へつなげることができました。
・ オンライン相談の実施(随時)	教員のICT活用指導力の底上げを図るため、希望に応じて随時時間い合わせを受け付けるオンライン相談会を実施します。	●	(随時) オンライン相談会の実施、相談内容の取りまとめ、周知(必要に応じて)											Teamsを用いたオンライン相談会を設けたことにより、チャットやビデオ通話での相談件数が増え、教員のICT活用指導力向上につなげることができました。
・ グループウェアの活用(随時)	グループウェアの機能を活用し、教員間の学び合いを促進することにより指導力の向上を図ります。	●	市教委主催の研修会での周知 市教委による、教員のポータルサイトへの登録			(随時) 活用方法の紹介及び実践事例の収集、周知								教材や授業動画など日々の実践に役立つ教材共有ポータルサイトをTeams内に設置することにより、市内各教員の実践を蓄積し、活用することができました。
(3) ICT支援員とヘルプデスクの設置														
・ ICT支援員の訪問支援(1校あたり月2回程度)	各学校の教員の実状やICT活用状況等を勘案しつつ、具体的な指導事例の提案や研修支援を進めます。また、学校のニーズに合わせた支援員の弾力的な配置を行います。	●	(随時) ICT支援によるサポート(授業支援、技術支援、研修支援)			配置見直し① 月1度 ICT支援員との定例会の実施			配置見直し②					定例会を開き、学校におけるICT支援員の運用状況を確認したり、各学校への支援を伝えたりしました。ICT支援員が積極的に授業支援を進めることで、協働ソフトオクリンクの使用状況は伸びました。 ※1校当たりの1か月活用数は昨年度の約1558回に対し、今年度は約1674回とおおよそ120回ほど伸びている。(4月~12月の比較)
・ ヘルプデスクの運用	教員のICTの利活用促進のため、各種ソフトや端末の操作方法等の相談や機器のトラブル対応を行い現場の教員の負担を軽減します。	●	市教委主催の研修会での周知			月1度 業務委託先との定例会の実施								ヘルプデスク(ウチダ、ミライシード)運用の活用促進を図るため、4月各校に周知しました。また、ヘルプデスク委託業者との情報共有に努め、必要に応じて各校へのアップデート手順や設定方法等を通知しました。

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール(案)											【参考】令和4年度の実績等	
(4) ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーにを図る指導力の向上		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーの訪問指導	ICTスーパーバイザーが各校を訪問し、「New草津型アクティブ・ラーニング」の内容に沿った指導・助言を行い、教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図ります。スキルアップアドバイザーは、教員のICT活用指導力向上を図るため、ICTを活用した授業の指導助言や授業支援、技術支援を行います。	担当者の学校訪問による周知及び年間計画の作成	(随時) ヘルプデスクによるサポート(各種ソフト及び端末操作相談、機器のトラブル対応)											訪問実績 【ICTスーパーバイザー】 ・校長面談 (ICT活用について)、モデル授業打ち合わせ・支援、モデル校打ち合わせ・支援 ・ICT研修実施 (初級・中級研修、初任者研修、夏季研修、スキルアップ研修、校内ミニ研修) 【スキルアップアドバイザー】 ・プログラミング学習事前打ち合わせ・支援 ・ICT研修実施 (スキルアップ研修、校内ミニ研修)
優良事例の収集と周知	教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や指導案等を実践事例集にまとめ、全職員で共有します。	収集計画及び周知方法の検討	(随時) 優良事例の収集、実践動画の作成							実践事例集・動画集の作成	市教委主催の研修会で報告	ポータルサイトへの実践事例集・動画集の掲載	優良事例を3事例収集し、編集した動画を教材共有ポータルサイトにアップし、啓発を行いました。現在、実践事例集作成に向けて原稿を整理しています。 小6 理科「ものを燃やすはたらき」 小6 理科「水溶液の性質」 中2 理科「生物のからだのつくりとはたらき」	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ICTスーパーバイザー	18	15	12	12	6	14	12	29	6	124
スキルアップアドバイザー	6	11	14	7	1	45	45	42	23	194

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
授業にICTを活用して指導する能力について肯定的に回答する教員 (文部科学省 調査より)	目標値			90%以上	90%以上		90%以上
	実績値	80.6%	90.50%	R4.3測定予定			

基本目標4. 校務のデジタル化を通じた教育の情報化と情報セキュリティマネジメントの推進		年間スケジュール(案)												【参考】令和4年度の実績等
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進														
・ 連絡手段のデジタル化の調査・研究、情報共有システム(アプリ)の導入	各校のアンケート調査のデジタル化や、学校通信等のペーパーレス化を進めます。	● 初期設定と利用者の登録 (随時) Formsによる「欠席連絡」の実施	● 情報共有アプリ活用のための研修会を実施	● 情報共有アプリの導入	● (随時) 活用事例の調査・研究									全校でFormsによる「欠席連絡」を実施しました。また、連絡機能だけでなく、お便り添付機能、出欠連絡機能、アンケート機能が実装する利便性の高い連絡共有アプリ導入の予算化に向けて準備を進めました。
・ グループウェアを活用したデジタル化の推進	現在使用しているTeamsを活用して、掲示板の運用や情報共有サイトによるデータの利活用を推進します。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	● (随時) Teamsによる掲示板および学習教材等の情報共有サイトの運用											Teamsのファイル共有機能を活用し、指導案や授業動画などを共有したり、教科等部会別のチームを作成し、連絡や情報共有等で運用しました。
・ 学校ホームページへのCMS導入	学校ホームページにCMS(コンテンツ管理システム)を導入することで、ホームページ作成事務を省力化し、掲載コンテンツの更なる充実を図ります。	● CMS活用のための研修会を実施	● CMSの導入	● (随時) 活用事例の調査・研究										学校ホームページへのCMS導入予算化に向けて準備を進めました。
(2) 校務のデジタル化の推進														
・ 校務支援システム、自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアの調査・研究	自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアについて中学校での調査・研究を進めます。		● 運用準備(教員への研修会等の実施)	● 実証校による調査・研究、実践事例の収集										自動採点ソフトについては、数社と実証事業を実施できるよう協議を行っている。
・ Web研修会・会議の実施	会議・研修会毎の議題や特性を鑑み、可能なものからテレビ会議システムを利用したオンライン化の支援を行います。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	● (随時) テレビ会議システムを活用した会議・研修会の実施および支援											会議および研修会については内容を精査し、オンラインによるビデオ会議の実施を積み重ねている。
・ ペーパーレス化の推進	会議資料や教育委員会発出の学校あて文書やFAXについて、可能なものからグループウェアを活用したデータでの配布・回収を進め、ペーパーレス化を推進します。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	● (随時) Teamsによる掲示板およびファイル共有機能の活用											Teamsによる掲示板およびファイル共有機能を活用するよう実践を積み重ねることで、ペーパーレス化を推進している。
(3) 情報セキュリティマネジメントの推進														
・ 学校情報セキュリティに関するガイドラインの見直し(随時)	教育情報セキュリティポリシーガイドライン(文部科学省)に則り、教育現場の実態や他機関の動向、技術的な進展等を踏まえた学校教育セキュリティガイドラインの見直しを随時行います。		● 学校教育セキュリティ見直し及び研修プロジェクトチーム結成	● (随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理	● プロジェクトチーム会議①								● プロジェクトチーム会議②	教育現場の実態や他機関の動向、技術的な進展等を調査したり、プロジェクトチーム会議で情報の共有や協議を重ね、学校教育セキュリティガイドラインの見直しを行いました。
・ 研修の実施	教職員の情報セキュリティに関する意識の醸成を目的とした研修機会を実施することで、児童生徒、教員が安全安心にICTを利用するための情報セキュリティ対策を推進します。								● 研修会の実施					教育情報化リーダー研修会において、情報セキュリティ対策のための研修会を実施しました。

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校との連絡手段等のデジタル化・ペーパーレス化が進み、利便性が向上したと思う保護者(保護者アンケートより)	目標値			80%以上	80%以上		80%以上
	実績値		未測定	R4.3測定予定			
校務のデジタル化が進み、業務負担が軽減されたと思う教職員(教職員アンケートより)	目標値			80%以上	80%以上		80%以上
	実績値		未測定	R4.3測定予定			
情報セキュリティ事故の発生件数	目標値			0件	0件		0件
	実績値	0件	0件(R4.2月時点)	R4.3測定予定			